

相談支援つうしん

<第101号>2024年8月 日
県立湘南支援学校 支援連携グループ
相談支援班 ~教師編~

6月に近隣の特別支援学校の教員が来校し、本校で行っている支援（湘南支援ブランド）について紹介する機会がありました。今回はその中でも、スケジュールについて改めてみなさんに共有したいと思います。

○社会性スケジュール

社会性スケジュールでは、児童・生徒が安定した学校生活を送るための環境設定として1日の生活に見通しを持つことが必要であると考えた。そのため、ツールとして「スケジュール」を使用することが有効であると考え、「スケジュール」の研究を進め、授業に参加しやすくするために活動や授業内容等を分かりやすく提示した「手順書」の研究を進めた。「スケジュール」は児童・生徒の実態に合わせて作成・変更をしている。

*引用「湘南支援ブランド集」一部省略

子どもたちの中には、活動内容より活動場所の方が気になることも多いかと思います。特に運動場などの魅力的な遊具がある場所にはいつ行けるのか、明確にしておくことが重要です。自分で行きたいときに行く場所ではなく、スケジュールに提示されているときに行けるというように子どもが理解できるようになるとストレスなく学校生活を送れるようになります。

子どもが「先生が見ていない隙に教室を抜け出して運動場で遊べた!」という経験をしてしまうと「勝手に運動場に行かない!」という禁止の指導をすることになってしまいます。そのような状況にならないためにもスケジュールを活用します。

実際に小学部では児童の実態に合わせてこのようなスケジュールを使用しています。



左のスケジュールは、シンボルマークと写真で場所を示しています。

右のスケジュールはシンボルではなくひらがなと写真で場所を示しています。

このように、子どもの実態に合わせて使用するスケジュールカードを変えています。

このホワイトボードに自分のスケジュールカードを貼りに行きます。



スケジュールカードを教室前の所定のホワイトボードに本人が貼り付け、終了後にフィニッシュボックスに入れ、次のスケジュールカードを取るといったサイクルを作るとスケジュールに沿った行動がしやすくなります。

→最初は準備や支援が大変だと感じると思いますが、これが子ども一人でできるようになると、「〇〇してね、次はこれだよ」など、わざわざ言葉をかけなくても大丈夫になったり、マンツーマン対応が減ったりするなど先生方の負担軽減にもつながります。また、大人の言葉かけで動けることも大切なことですが、言葉かけがなくても動けるようになっていることで社会に出たときに指示待ちの人にならずに済むことにもなります。

研修会の中で、一番印象に残ったのは「カードは魔法ではない。」ということでした。もちろん、視覚的にスケジュールを提示することで、見通しが持てたり、言葉のように消えてなくなるので見て確認できたりして安心材料になるものではあると思います。でも、だからと言って嫌な「検診」はいくらスケジュールがわかっていたとしても、嫌なものは嫌ですよ☹️カードを見せられても好きにはなれませんよね、だから「魔法のカード」ではないということです。

研修会であったエピソードでは、検診が嫌いな子が「検診」のカードを見て泣いていましたが、検診が終わりフィニッシュボックスにカードを入れたらいつものニコニコな様子に戻ったようです。見通しがもてても検診は泣くほど大嫌いですが、その検診が終われば今日のスケジュールの中に検診はもうない！と分かったんでしょね。始めに紹介した、「好きな場所にいつ行けるのか」を確認するためにスケジュールは大切ですが、この後に嫌なことはまだ待っているのか？を確認するためにも大切なツールだということがこの研修で分かりました。

*この通信の内容は小学部長の佐藤先生の資料や研修を参考に書いています☺️

支援グッズの紹介

1学期はたくさんの支援グッズを使っていたくださりありがとうございました。子ども一人ひとりによってヒットする支援グッズが異なります。子どもたちが安心安全に学校生活を過ごせるように必要なグッズを2学期もぜひ試してみてください。今回は新しく入れた感覚グッズを紹介します。



梱包材によくあるプチプチの感覚が好きなお子にはヒットするかもしれません。他にも3色あります。



やわらかいスクイズです。小さめサイズなので待ち時間などに手の中で握っていられます。写真以外にもう1種類あります。



手のひらより大きいサイズのスクイズです。適度な重さがあり、握ると「ぎゅっ」と重ための感覚が入ります。



カミカミグッズです。これ以外にも硬め、少し柔らかめなどいろいろあるので試してみてください。

相談カード（教員用） 記入日 令和 年 月 日

対象児童生徒 小・中・高 年 氏名（イニシャル）

1. どのようなご相談ですか？（○をつけてください）

①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて ④運動面について
⑤家庭に関すること ⑥ その他（ ）

2. 困っていることは何ですか？

3. 今後どのような方法をご希望ですか？ ①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④他校専門職との連携

⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他（ ）

担任→相談支援係へ提出をお願いします。